



KYOTO
CHISHAKUIN
TEMPLE

真言宗智山派
しんごんしゅうちさんぱ

總本山智積院
そうほんちしゃくいん





智積院の沿革

智積院は真言宗智山派の総本山として現在全国に末寺3千余力寺を擁し、その中には成田山新勝寺、川崎大師平間寺、高尾山薬王院の大本山を始め、高幡山金剛寺、大須觀音宝生院の別格本山があり、檀信徒数は約30万人のぼります。

真言宗は弘法大師空海上により開宗されました。平安末期になると宗勢は衰微してしまいます。その時鳥羽上皇の信任を得た興教大師覚鑊上人が高野山に登り真言教学を再興しました。晩年覚鑊上人が移り住んだ紀州(和歌山県)根来寺は、最盛期の戦国時代には坊舎2千7百余、住侶6千、所領70万石を数えるまでに勢力が拡大し、中でも智積院は真言教学を学ぶ学問所として隆盛しました。天正13年(1585)、根来寺は豊臣秀吉に全山を焼き払われてしまい、智積院の学頭(最高指導者)

玄宥僧正は、根来の再興を願いつつ多くの学僧と共に高野山、京都と難を逃れていました。元和元年(1615)徳川家康は秀吉が愛兒鶴松の菩提を弔う為に建立した祥雲禪寺を智積院能化(住職)に寄進、以来「五百仏山根来寺智積院」と称し、学山としての伝統を保ち、法燈絶えることなく今日に至っています。現在の金堂は昭和50年6月15日に宗祖弘法大師ご誕生1200年記念事業としてご本尊大日如來の尊像と共に造顕されました。



金堂ご本尊 大日如來



興教大師



弘法大師



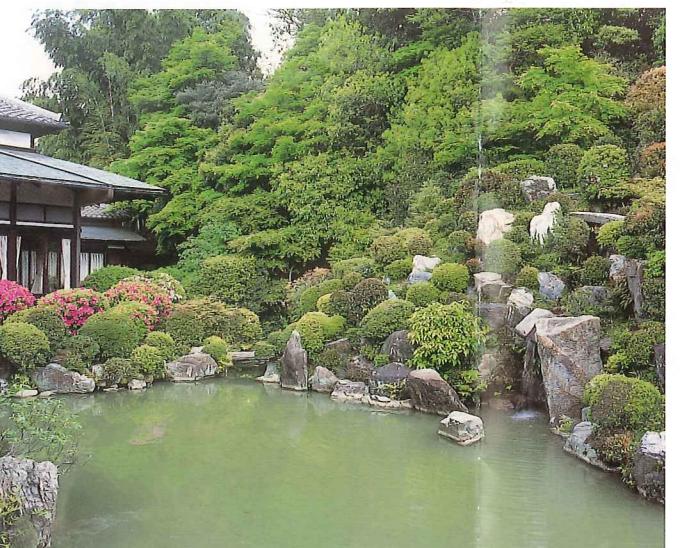
国宝障壁画

かのうは
桃山時代に全盛期であった狩野派に対抗し、独自
の画風を確立した長谷川等伯。その一派によって
描かれた祥雲禪寺の障壁画のうち、智積院に現存する絵は、楓図、
桜図、松に秋草図、松に黄蜀葵図、
雪松図、松に立葵図等です。この
うち特に桜図と楓図は、日本の
障壁画を代表するものとして世
に知られています。桜図は長谷
川久蔵25才の作で、二本の桜を
を中心に、八重の花を蒔き散し、画面
は大胆な構図のもと、春爛漫
の景を描き出しています。作者
久蔵が26才の若さで急逝した
翌年、父等伯が哀惜の情を振りきり、自己の生命力
を画面一杯に傾けて楓図を描き出しました。画面中
央に描き出された幹や枝の激しい動き、紅葉や秋
草の写実性、空や池の抽象的な表現、それら全てが
和合し生き生きと絢爛豪華に描かれています。



名勝庭園

智積院の庭園は、利休好みの庭と伝え
られ中国の廬山を模って造られています。
祥雲禪寺時代に造られた石橋より奥の方は、
自然石のみを用いて刈込を主体とし、深山
の中にいるような奥行のある野性的な雄
大さ勇壮を感じさせてくれます。滝の落
ちている正面は、江戸時代に修築されたもので、石組と植込
とが交互に並び、洗練された美しさが築庭の極限を表現して
います。庭を全体的に見ますと、小さなもの特有のきめの
細い所を見せながらも、他に類の無い雄大さと重厚味を感じ
させられます。名勝庭園の傑作の一つであるこの庭は、四季
折々の美しさを楽しめますが、特に5月下旬から6月下旬
にかけてのサツキの頃が一段と艶やかさを増します。



智積院講堂襖絵

智積院講堂に、60点の襖絵が平成20年に
奉納されました。作者は現在日本画壇における第一人者、前東京芸術大学副学長・田渕俊
夫画伯です。

「日本の春夏秋冬」を題材にした墨絵は、自然の持つ雄大さの中に全ての生きとし生ける
ものを包み育む優しさ、一方で我々を拒絶
するかのような厳しさも併せて描かれています。

心静かに絵の世界に入り込むと墨の濃淡の
みで表現しているとは思えないほど、「枝垂れ
桜」は薄桃色が、「めだけ」は緑色が眼前に広
がる、そんな錯覚さえ覚えてしまいます。また、
この水墨画は今までの技法とは異なり和紙(化

学処理や漂泊しない)に墨と
水だけで描かれた、環境にも
配慮したまさに新しい時代の
墨絵でもあります。作者の集
大成であり、智積院の新たな
寺宝です。

Chishakuin is the headquarters of the approximately 3,000 temples nationwide belonging to the Chisan School of the Shingon Sect of Buddhism. During the Edo period, it flourished as a center for Buddhist studies and training, receiving over 500 monks, not only from the Shingon Sect but from other sects also. At present, it serves as a training center for Chisan Shingon monks, and additionally as a place for members of the public to hold memorial services for their ancestors, pray for wishes to be answered, and study Buddhism. Its garden, one of the best-known gardens in Kyoto, was inspired by the area around Mt. Lushan in China and offers a distinct beauty according to the season. The wall paintings of maple and cherry trees here, painted by Tohaku Hasegawa and his son, are another important feature of the temple and some of the most prominent examples of their kind in Japan. The screen painting in the hall, "Four Seasons," is a depiction of the four seasons of Japan created using only black ink, and was dedicated to the temple in 2008 by the artist Toshio Tabuchi.

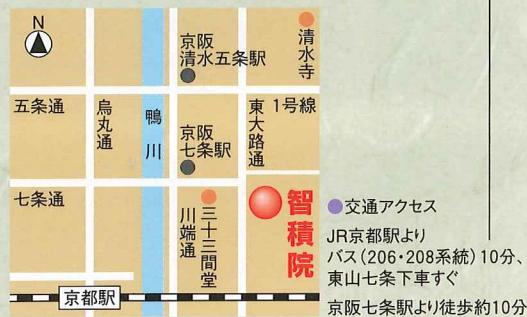
智积院是统辖全国真言宗智山派约3,000寺院的总寺院。在江户时代，智积院作为供500名以上的真言宗及其它宗派僧侣学习的修行寺院而繁荣。现在，智积院既是真言宗智山派僧侣培训和研究之处，也是人们为祭奠祖先或祈祷而参拜及学习佛教的圣地。在京都也属于著名庭园之一的智积院庭园，据说是模仿中国的庐山而建造的，其四季美景，令人赏心悦目。此外，出自长谷川等伯等画家之手的枫叶图和樱花图，为日本隔扇画的代表作。讲经堂的拉门画《四季墨绘》，是2008年由画家田渕俊夫献纳的、用水墨单色表现日本四季的作品。

지샤쿠인 절은 전국의 진언종 지산파(智山派)의 약 3,000 사원을 총괄하는 총본산입니다. 에도시대에는 진언종 이외에 다른 종파도 받아들여서 500명 이상의 승려가 공부하는 학문의 절로서 번성했습니다. 현재는 진언종 지산파의 승려 양성과 수련 장소임과 동시에 많은 사람들이 조상에 대한 공양과 명복을 빌기 위해서 참배하거나, 불교를 익히는 성스러운 장소가 되고 있습니다. 교토에서도 유명한 정원의 하나인 지샤쿠인 절의 정원은 중국의 로산(廬山)을 본뜬 것으로 전해내려 오고 있으며, 계절마다 다른 아름다움을 즐길 수 있습니다. 또한, '하세가와 도하쿠' 등이 그린 단풍나무 그림과 벚나무 그림은 일본의 장벽화를 대표하는 작품입니다. 강당의 맹장지 그림 「사계절 수묵화」는 2008년에 '다부치 도시오' 화백이 봉납하였고, 일본의 사계절이 먹의 한가지 색으로만 표현되어 있습니다.

KYOTO CHISHAKUIN TEMPLE

年中行事

- 修正会 1月1日
新年祈祷会・御昆布式 1月15日
節分会 2月節分当日
常樂会 2月15日
正御影供 3月21日
仏生会 4月8日
玄宥僧正誕生会 4月17日
青葉まつり 6月15日
暁天講座 8月1日~2日
盂蘭盆会 8月15日
総供養法要 8月31日
冬報恩講 12月10日~12日
彼岸会 春秋彼岸



真言宗智山派 總本山智積院

〒605-0951 京都市東山区東大路七条下る東瓦町964
TEL. (075) 541-5361(代表) URL <http://www.chisan.or.jp/sohonzan/>

古都の旅、仏の宿でやすらぎの一夜を
善男善女 どなたでもご利用いただけます

宿坊 智積院会館

〒605-0951
京都市東山区東大路七条下る東瓦町964
TEL. (075) 541-5363 FAX. (075) 541-4167



26.10.100,000